

土壤中の重金属等簡易・迅速分析法

標準作業手順書*

技術名：卓上型エネルギー分散型蛍光X線分析装置

使用可能な分析項目：カドミウム含有量

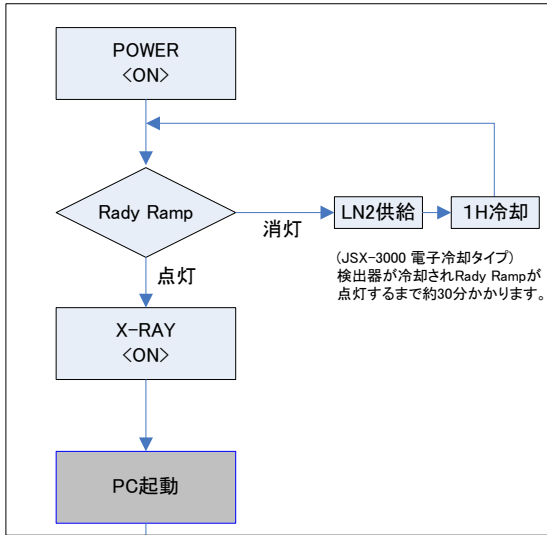
実証試験者：日本電子株式会社

* 本手順書は実証試験者が作成したものである。

なお、使用可能な技術及び分析項目等の記載部分を抜粋して掲載した。

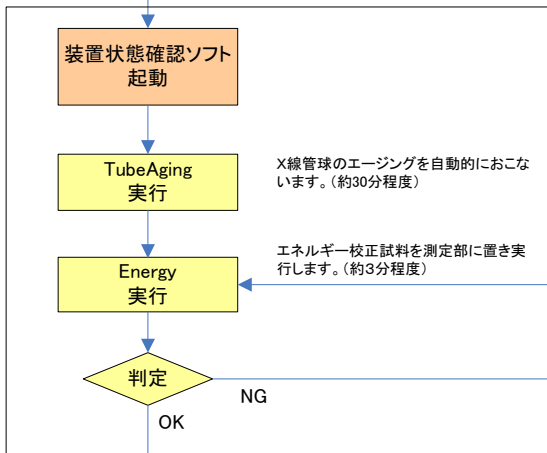
装置操作手順

■ 装置本体の立上げ JSX-3202EV

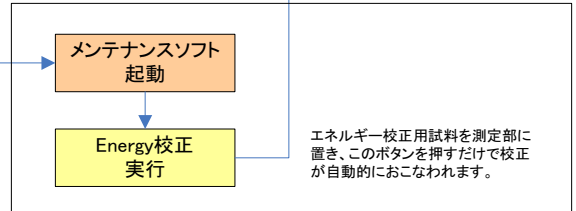


■ 装置状態の確認

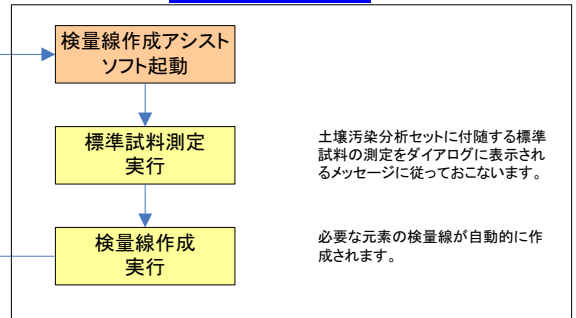
別紙6-6、6-7 参照



■ 装置校正

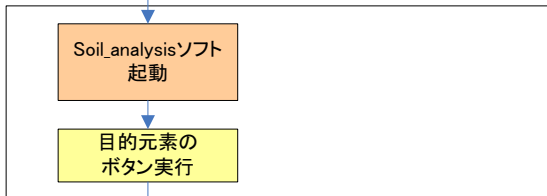


■ 検量線作成 別紙6-8~6-11 参照

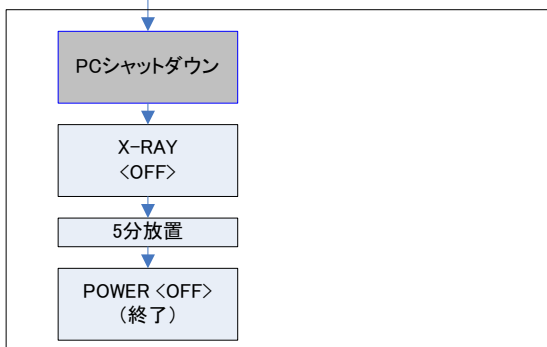


■ 土壌重金属分析

別紙6-1~6-5 参照



■ 装置のシャットダウン



試料調整方法 粉末編-



フィルムを張る (30秒)



サンプルを入れる (30秒)



押し固める (30秒)



多孔質フィルムで閉じる (30秒)

測定部に試料を設置する



測定部



試料を置く

試料室ふたを閉める



Open/Closeボタンを押す

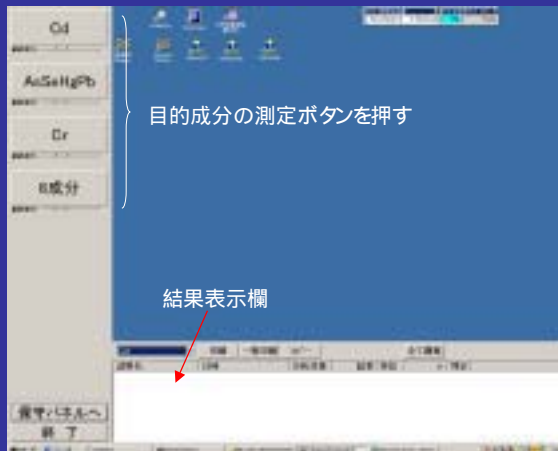


Element Analyzer JSX-3200 Series

分析ソフト

土壤重金属成分分析ソフトの概観

このアイコンで起動します

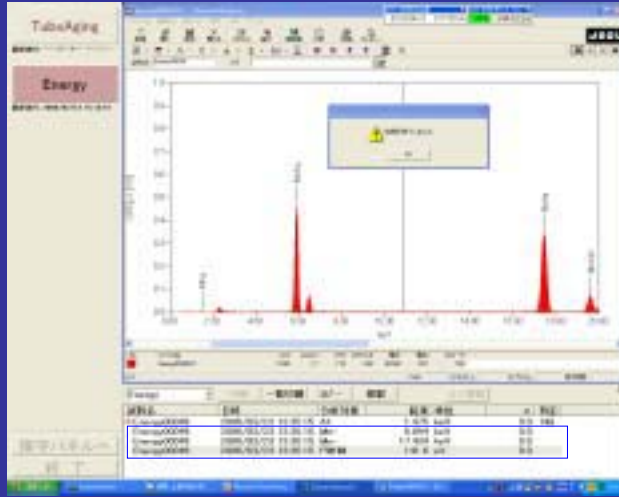


目的成分の測定ボタンを押す

結果表示欄

Element Analyzer JSX-3200 Series

Energyボタン実行例



Mn-Ka、Mo-Kaでエネルギー位置確認をおこないます。
検出器の分解能 (Mn-Ka)も確認できます。
NGが出た場合にはエネルギー校正を実施します。

Element Analyzer JSX-3200 Series

検量線作成アシストソフト

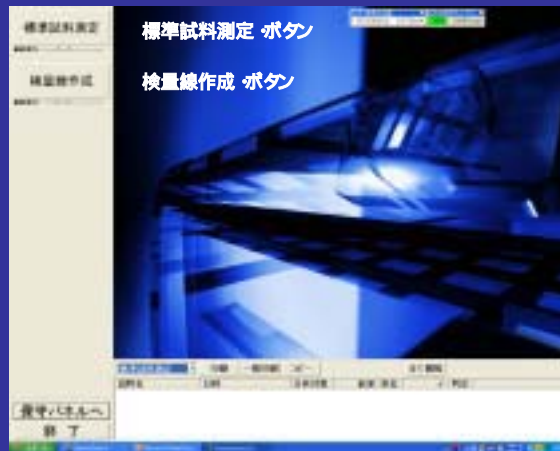
土壌汚染分析 (重金属)セットを購入されると
検量線作成用の標準試料
検量線アシストソフト
が付きます。

検量線アシストソフト
各成分に対して最適な測定条件が設定されています。
検量線作成時に面倒な設定なしにワンボタン操作で作成できます。

このアイコンで起動します

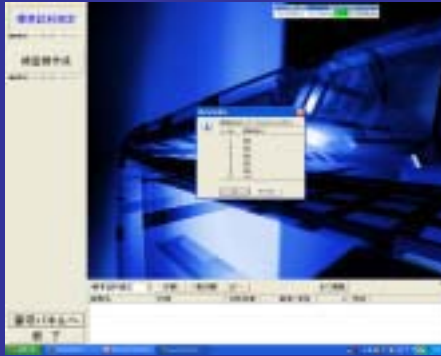


検量線アシストソフトの概観

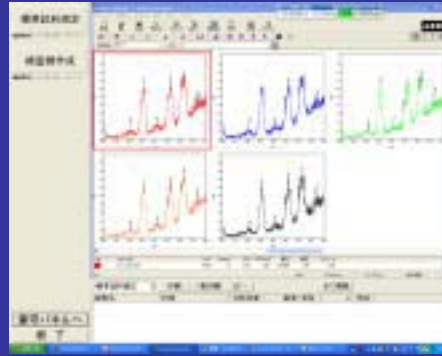


Element Analyzer JSX-3200 Series

標準試料測定ボタン実行例



ボタンを押すとターンテーブル (多試料交換機)への試料の設置メッセージが表示されます。

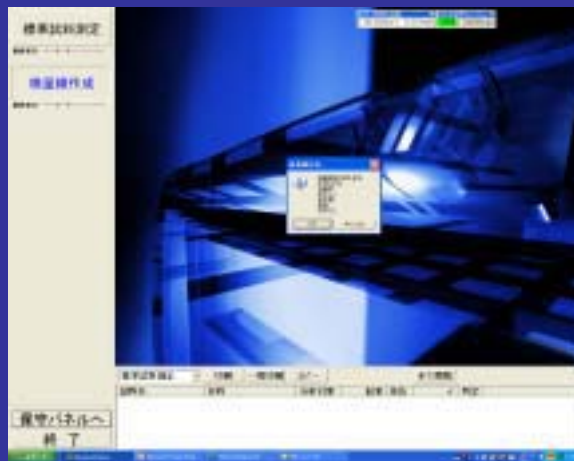


標準試料の測定がおこなわれます (自動)。

Element Analyzer JSX-3200 Series

検量線作成ボタン実行例

ボタンを押すと各成分の検量線が自動的に作成されます。



Element Analyzer JSX-3200 Series

自動作成された検量線

